



2019 10
令和元年

誌面に掲載した記事・写真等の無断複製・転載等はお断りします。
お問い合わせ・ご意見は狛江市地域活性課へ

発行 ●**狛江市地域活性課**
〒201-8585 狛江市和泉本町1-1-5
☎3430-1111 FAX3430-6870
Email=wacco@city.komae.lg.jp

編集・制作 ●**特定非営利活動法人 k-press**
〒201-0003 狛江市和泉本町1-35-3
ル・ミリオン・イイダ3階A号
☎3430-6617 FAX3430-6743

手軽さを受けて急速に普及



グラウンド・ゴルフ春期大会

狛江市グラウンド・ゴルフ協会

狛江市グラウンド・ゴルフ協会(石黒清会長)は、平成2年に狛江市が日本グラウンド・ゴルフ協会の役員を招いて講習会を開いたのがきっかけで、市内でプレーする人が増え、翌年に愛好家が集ま

って結成、狛江市体育協会に加盟した。グラウンド・ゴルフは昭和57年に鳥取県東伯郡泊村で考案されたゴルフに似たニュースポーツ。直径6センチのプラスチック製ボールを木製クラブで打ってホールポストに入れるまでの打数を競う。15センチから50センチまで4段階の長さで設定された8ホールを回ってプレーするが、地形などは規格化されていないため、公園や河川敷などのような場所でも楽しめるのが特徴。ルールが簡単で用具も比較的安価なうえ、高度な技術がない初心者や、体力のない高齢者や女性でも楽しめるなどの理由で、急速に広まった。

協会発足当時は会員が東京都の大会に参加し、優秀な成績を残した。現在の会員は110人で、70歳以上が多く、平均年齢は男性84歳、女性79歳で、最高齢の96歳の男性もプレーしている。ま

た、入会10年以上の会員も多い。

同協会では8月を除いて市民グラウンドと西和泉グラウンドで週2回午前中に練習会や会員による月例会を催しており、コースの設営などは会員が交代で担当している。男性会員にはゴルフの経験者も少なくないが、より上達するために普及指導員の資格を持つ会員からテクニックを学ぶ人も多い。

協会では春と秋に大会を催すほか、狛江市民まつりで初心者指導や体験会を開くなど、普及に力を入れている。

石黒会長は「会員の多くが自分の体力に合わせて練習や月例会に参加しています。平均年齢は高いですが、グラウンド・ゴルフを続けることによって体力や気力、若さを維持しています。会員の性別は男性3対女性7の割合なので、男性の参加を増やしたい。また、若い人たちにももっと参加してもらい、気軽にできる生涯スポーツとして普及させたいです」と話している

問い合わせ ☎3480-8510 石黒さん。

小学校単位の6チームが活動



市主催の秋季大会

狛江市学童軟式野球連盟

狛江市学童軟式野球連盟(柳原和弘会長)は礼儀・仲間・信頼をモットーに野球を通じて少年少女の心身の健全育成などを目的に活動している。

昭和46年に始まった市主催の少年野球大会をきっかけに前身となる狛江市少年野球愛好会が51年に結成された。57年に少年野球連盟に改称、平成3年に狛江市体育協会に加盟、今年度に現

在の名称に変更した。連盟は小学校区単位で組織された6チームで構成され、選手と保護者、監督やコーチが加入している。各チームは、おおむね5・6年生で編成するシニア、4年生のジュニア、3年生以下のスーパージュニアに分かれて大会に出場することが多い。

各チームは連盟主催の春季大会、市主催の秋季大会のほか、全日本学童、都学童、学童新人戦などさまざまな大会に出場しており、年間を通じて試合数が多いのが特徴だ。また、監督やコーチは野球経験者を中心に子どもたちの指導にあたり、審判講習会な

どに参加して指導技術の向上や知識の習得に努めている。

少子化や野球人気の陰りなどで選手が減少傾向にあるため、その対策として低学年の子を基礎から指導することに力を注いだり、約10年前からスーパージュニアの大会を開くなどしている。また、自転車講習会、共同募金活動、ロードレースへの出場など野球以外の活動も活発に行っている。

連盟では「練習は学校の校庭を利用しているが、子どもたちのために専用球場を持つのが夢。今後は選手以外の子どもを対象にした野球教室も開き、野球の裾野を広げたい」と話している。問い合わせ ☎090-2562-9873 曾我さん。

ラグビー W杯パブリックビューイング

日本代表勝利に大歓声

ラグビーワールドカップ2019が開幕した9月20日昼、狛江市ではエコルマホールで初戦の日本代表対ロシア代表戦のパブリックビューイングを実施、参加者たちはスクリーンに映し出される日本代表の活躍に大きな声援を送っていた。

開会式と開幕戦などが行われる調布市の東京スタジアムへ向かうシャトルバスが狛江駅から発着するため、W杯をまちぐるみで盛り上げ、地域の活性化や国際交流を図ろうと催された。

パブリックビューイングでは大ホールの舞台に中継映像



大ホールで行われたパブリックビューイング

が映し出され、客席からは日本代表の赤と白のレプリカユニフォームを着た家族連れなどが紅白のバルーンスティックを手にして応援、日本代表の選手がトライを決めると大歓声を上げていた。

観戦の前にはゲストのサントリーサンゴリアスの垣永真之介選手がラグビーについてわかりやすく解説したほか、女優で歌手の寺田有希さん、元NHKうたのおねえさんのつのだりょうこさんのライブが行われた。また、ロビーではラグビーにちなんだ絵手紙体験、日本郵便に

よる展示販売、音大生トリオ「狛江市民」のミニコンサート、狛江駅北口交通広場では「どやどや楽団」による駅前ライブが催された。

5日・13日にも開催

パブリックビューイングは5日午後2時15分からメビウス∞えきまえ広場でオーストラリア代表対ウルグアイ代表、イングランド代表対アルゼンチン代表、日本代表対サモア代表の3試合、13日午後12時15分から多摩川緑地公園グラウンドでサントリーサンゴリアスの垣永真之介選手とガールズユニット「kolme」をゲストに迎え、ナミビア代表対カナダ代表、アメリカ代表対トンガ代表、ウェールズ代表対ウルグアイ代表、日本代表対スコットランド代表の4試合を放映する。



熱戦を展開する狛江一中(奥)と狛江二中

狛江市立中学校スポーツ対抗戦 女子バレーボール

が、線審やコート整備などは中学生が担当した。

選手は、小学生バレーボールチームでプレーした生徒から中学生になって始めた生徒までさまざまだが、各チームともレベルアップをめざし週4~5日練習に励んだ成果をみせようと、試合中は全員が声をかけて励まし合い、熱心にボールを追う姿が見られた。3年生は、この対抗戦が最後の大会になるため、観客席の保護者からは熱い声援が送られていた。

試合は狛江第一中学校が3戦全勝で優勝を果たした。同校は今年度の東京都中学バレーボール夏季大会第9ブロックで準優勝し、都大会へ出場した実力を発揮、キャプテンで3年生の大沼莉々さんは「自分たちの思うようなプレーができたのが、成績につながりました」と喜んでいました。

2位は狛江第二中学校、3位は狛江第四中学校、狛江第三中学校。

10月のスポーツカレンダー

- ショートテニス 1・8・15・22・29日 11:25 西和泉体育館 狛江〇くらぶ 080-1327-9789 松沼
 - 体操教室(女性) 2・9・16・23・30日 11:30 市民総合体育館 狛江〇くらぶ 090-5829-8069 前川
 - バレーボール 2・9・16・23・30日 16:15 西和泉体育館 狛江〇くらぶ 松沼
 - バドミントン 7・21・28日 11:25 西和泉体育館 狛江〇くらぶ 松沼
 - 体操教室(男女) 7・21・28日 19:00 市民総合体育館 狛江〇くらぶ 090-1437-2420 田村
 - 卓球を楽しむ会 14日 19:00 市民総合体育館 狛江〇くらぶ 090-9103-7131 山本
- * イベント名、開催日・期間、開始時間、会場、主催、問い合わせ先(2回目以降は電話番号省略)の順。